

報 道 資 料

令和2年12月11日
農業水産振興課鳥獣対策係
豊田・小嶋
0742-27-7480
内線 4012

奈良県五條市での高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内16例目）に伴う野鳥緊急調査の結果について

奈良県五條市の採卵鶏農場における高病原性鳥インフルエンザ発生（家きん国内16例目）を受けて、令和2年12月9日及び10日の2日間、環境省から派遣された野鳥緊急調査チームにより、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施したところ、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

1 調査期間

令和2年12月9日（水）～10日（木）（計2日間）

2 調査結果

野鳥監視重点区域内の渡り鳥の飛来地等14か所において、野鳥の生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

（参考）野鳥緊急調査で観察された鳥類

検査優先種	種数	種類
検査優先種 1	5種	オシドリ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カイツブリ、オオタカ
検査優先種 2	4種	マガモ、ホシハジロ、オオバン、ノスリ
検査優先種 3	9種	カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヨシガモ ハシビロガモ、カワウ、アオサギ、トビ、ハイタカ
合計	18種	検査優先種：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定されているものです（別紙参照）。

3. 今後の対応

引き続き、野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を継続します。